



20 扶桑第一峯 横山大観 一幅

絹本墨画淡彩 昭和三年（一九二八）
本紙七〇・六×二一五・〇

昭和三年、大礼奉祝のために衆議院より献上された。「扶桑」とは中国において東方にある地という意味であり、そうしたことから日本をその地にあてる考え方があった。その第一の山と題した本図は、富士を世界に誇る大観の心情がこの題名に込められている。昭和期に入って、大観が数多く制作するようになる朝陽と富士の取り合わせであり、美しい墨色で表された荘厳な富士に真紅の朝陽が映えている。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

富士 ―山を写し、山に想う―

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 46

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十年三月二十二日発行

© 2008 The Museum of the Imperial Collections